

平成28年度 宮崎中小企業大賞表彰  
株式会社 アコー



会社概要

創業者 昭和47年7月  
代表者 代表取締役 寺菌 信一  
従業員 50名  
業種 音響・振動センサー、音響・振動用計測機器製造販売  
所在地 高原町蒲牟田1-8  
TEL 0984-42-4499  
FAX 0984-42-0344  
URL <http://www.aco-japan.co.jp/>



代表取締役 寺菌 信一 氏

表彰理由

表彰項目 『 **オンリーワンの視点** 』 ～ オンリーワンの製品や技術により産業を支えている企業 ～

同社は、昭和63年に、本県が高原町に誘致した企業であり、音響や振動に関する各種測定器の設計から製造まで行う専門メーカーとして発展してきた。また、世界初の補正機能を有する精密騒音計を開発するなど高い技術力を持っており、同社の製品は、自動車メーカーや電子機器関連メーカーなど約400社に納入されていることや、海外取引も活発なグローバル企業である点が評価された。

会社紹介

昭和47年 「株式会社アコー」を設立  
昭和63年 宮崎技術研究所・工場設立(宮崎県が誘致)、大型無響室を建設  
平成5年 アコー販売株式会社を設立  
平成17年 クリーンルーム新設  
平成21年 世界初0-dB補正機能付きTYPE6236を開発  
平成24年 創立40周年



音響や振動に関する各種測定器の設計から製造まで行う専門メーカー

「センサーのアコー」として国内外から高評価

世界初の『 **0-dB補正機能** 』を開発



従来の技術では、人に聞こえるかどうかの小さな音を測定しようとすると騒音計自体の電子回路から発するノイズの影響を受けてしまっていたが、この製品によって、「0」から「80dB」までの幅広い測定が可能となった。

最新技術はここから生まれる



「音を吸収する部屋」  
音源からの音圧レベルを正確に測定するため、外部からの騒音の影響を抑えるため、内部はグラスウール製の吸音材が敷き詰められている。  
～用途例～  
マイクロホン、スピーカの性能試験



「音を反射させる部屋」  
残響時間を長くするため、室内の壁・床・天井は平行な面が無くされ、音が反射し易く、室内の音圧分布が一様になるように設計されている。  
～用途例～  
吸音率、音響パワーレベルの測定

主な製品例(国内約400社への納入実績・海外取引も活発)

HATS (Head and Torso Simulator)

車内や携帯電話など人間が介在することによる特性を考慮した測定が可能。

排気騒音測定装置

「保安基準」により定められた方法によって自動車の排気騒音を測定。

風力発電用全天候ウインドスクリーン

『風切音低減・防水性・音響透過性』の3拍子揃った風力発電用(低周波音用)の専用ウインドスクリーン

騒音・振動監視ロボット「きんりんⅢ」

工事現場から発生する騒音と振動を測定し、周知を行う。

展覧会への出展・技術開発への取組

中国国際展覧会(上海、北京)  
国内外の展示会に出展した際は、多くの方が興味を示し、大きな反響を受けた。

「日本音響学会」、「日本騒音制御工学会」に参加し、単なる企業研究にとどまらない独自の技術開発に力を入れている。

会社概要

創業者 平成13年12月  
代表取締役 荻野 次信  
従業員 23名  
業種 情報通信業  
所在地 宮崎市橋通西3丁目10  
-36ニシムラビル6階  
TEL 0985-35-7851  
FAX 0985-35-7852  
URL http://www.e-kjs.jp/



代表取締役 荻野 次信 氏

表彰理由

表彰項目 『 新技術・新分野進出の視点 』

- ・新技術・新製品の開発等により業績を伸ばしている企業
- ・ICTの活用等、時代のニーズに対応した独自性・新規性の高いサービスを提供している企業

「ThinkBoard（シンクボード）」という、画像や表、グラフ等に、製作者自身の声や手書き描写による解説をリアルタイムで加えることができる他社が真似できないソフトを開発しており、ここ数年で急速に成長しているIT企業である。同ソフトは、動画作成が簡単で容量が軽いことから、授業配信システムで力を発揮しており、モンゴルやバングラデシュといった開発途上国の教育分野で活用されるなど、新技術を持って宮崎発のグローバル展開を行っている点が評価された。

会社紹介

平成20年 株式会社教育情報サービスを設立  
平成21年 大手出版社、財団法人などと協業しWeb教育システムを開発  
平成22年 大手学習塾と協業開始。教育機関への「ThinkBoard」導入を本格化  
平成25年 モンゴル国新モンゴル高校との共同研究開始  
平成26年 啓林館と協業し「スマートレクチャー」サイトの運営を開始  
平成27年 新ソフト「SkyPDF for Talking」を、(株)スカイコムと共同開発  
平成28年 中小企業海外展開支援事業（JICA）～普及・実証事業～に採択

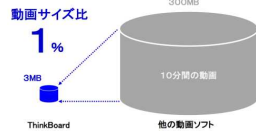


「伝えたいことが心に届く」、声と手書きの動画制作ソフト「ThinkBoard(シンクボード)」で教育分野に貢献

シンクボード®  
**ThinkBoard**



画像や表、グラフ等に、製作者自身の声や手書き描写による解説をリアルタイムで加えることができるソフトで、また、その動画は「一般的な動画の約100分の1」と極めて軽量である。



最大1920×1040pxの高解像度  
声が聞こえて  
なめらかにペンが動く  
再生ボタン  
00:14:49



「ThinkBoard」を使ったユニバーサル数学とビジネス数学英語版を開発

ユニバーサル数学

中学1年生～高校3年生を対象に、日本語版と英語版の動画教材(1,590本)を提供。

ビジネス数学英語版

「ビジネスに必要な数学」を英語で解説する動画サービス(約600本)で、大手メーカー企業の教育教材に導入予定。

数学検定の動画授業  
数学力UP!!  
公益財団法人 日本数学検定協会公認

「ThinkBoard」と「WebLMS」を活用した海外展開

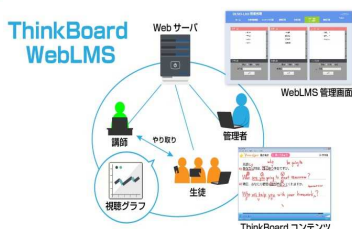


2014年に国際協力機構(JICA)の事業を受託し、情報処理技術試験の対策講座をバングラデシュへ導入した。

「ThinkBoard」をモンゴル・ウランバートル市内の公立、私立全200校に導入し、ICTを使った教育の質向上を目指している。

2016年にはケニアを訪問し、事業の可能性が大きいことを確信。今後、ケニアにおける「ThinkBoard」の普及を進めていく。

独自の学習管理システム「WebLMS」を開発



視聴者の視聴状況把握と動画コンテンツの管理、テスト、アンケートを行う独自の学習管理システムのこと、動画コンテンツを「だれが」「いつ」「どのくらい」「どのように」視聴したかを測ることができる。

「第2回九州未来アワード」で大賞を受賞



2015年に行われた九州の主要新聞社7社が主催する「第2回九州未来アワード」国際事業・インバウンド観光部門で、大賞を受賞。積極的に海外展開を行う事業内容に対して審査員、聴衆の大きな賛同を得た。

**会社概要**

創業者 昭和48年1月  
 代表取締役 弓削 昭男  
 従業員 226名  
 業種 飼料・肥料製造業、  
 農水産業  
 所在地 都城市高城町有水1941  
 番地  
 TEL 0986-53-1041  
 FAX 0986-53-1850  
 URL http://www.nangokunet.co.jp



代表取締役 弓削 昭男 氏

**表彰理由**

表彰項目 『 **地方創生・地域振興の視点** 』

～地域の資源や県内生産品を活用した事業活動により、地域経済の活性化、被災地域や国内の産業振興への貢献が顕著な企業～

畜産の盛んな南九州地域においては、畜糞や食肉処理施設からの骨・内臓等の廃棄物が日々大量に排出されるため、これらをいかに低コストで有効・適正に処理するかが重要である。こうした中、同社は昭和48年の創業以来、牛、豚、鶏の家畜や魚のレンダリング事業を営んでおり、平成25年度実績で年間約15万トンの受入れを行うなど、本県の畜産業においてなくてはならない存在である点が評価された。

**会社紹介**

昭和48年 操業開始  
 昭和50年 飼料用油脂の製造開始  
 昭和54年 魚粉の製造開始  
 昭和55年 牛豚皮の塩漬加工開始  
 平成7年 肥料第一工場完成  
 平成14年 鶏ふん発電ボイラー完成  
 平成15年 BSEフリー肉骨粉供給施設整備事業による乾式設備完成  
 平成24年 蓄ふん発電ボイラー完成

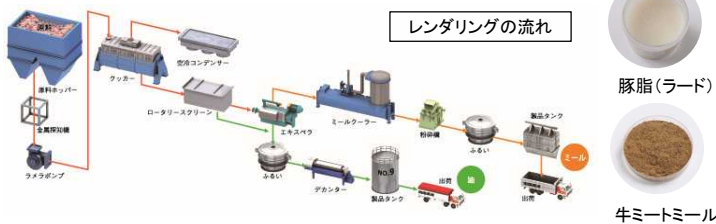


「レンダリング事業」等によって宮崎県の畜産業を支えている企業

資源循環型社会に貢献する『**レンダリング事業**』



～レンダリングとは？～  
 家畜を、食肉処理する際に生じた**食用に適さない部分**(内臓や骨などで、全体の40～50%を占める。)等を加工して、**動物性油脂・動物性たん白質**などを製造すること。動物性油脂は食用油脂の原料として、動物性タンパク質はペットフード等へ利用されている。



土や人、植物に優しい肥料づくり



有機配合肥料



有機燃焼灰肥料



植物質や動物質の加工残渣を独自技術により、発酵・熟成させ、**アミノ酸やミネラルの豊富な有機質肥料**を製造。

「鶏ふんボイラー」等から発生した灰は、貴重な**リン酸やカリウム、マグネシウム**が豊富なため、肥料として有効活用。

「鶏ふんボイラー」と「畜ふんボイラー」で環境保全に大きく貢献

家畜のふん・尿による悪臭や地下水の環境汚染を解決するため、平成14年に**国内初の「鶏ふん発電ボイラー」**を、平成24年に**家畜全般の畜ふんを処理できる「畜ふんボイラー」**を建設。



レンダリングには、大量の蒸気と電気が必要であるが、ボイラーで得られた蒸気で発電を行い、工場全体のエネルギーをまかなっている。また、燃焼灰は**良質な肥料として利用**されている。

良質な豚肉「日向おさつポーク」を販売



自社農場では、良質な国産の「**さつまいも**」を配合した飼料で**養豚**を行っており、「**日向おさつポーク**」として販売。脂肪のりを抑え、肉の甘みを引き出しているのが特徴。

水産事業(養鰻・養鮎)への取組



～田園浪漫～



～氷ヶ鮎～

